

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.4</b>
<b>1 音環境</b>		<b>4.0</b>	0.15	<b>3.4</b>	1.00			<b>3.4</b>
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		<b>5.0</b>	0.50	<b>3.9</b>	0.50			
1 開口部遮音性能	等級 T-2	5.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能	界壁の躯体厚さを180mm以上とし、Dr-50の性能を確保する	3.0	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	-	1.0	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.9</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.2</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00			<b>3.8</b>
3.1 昼光利用		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1 昼光率	C棟バーテイルーム 昼光率=3.8% B9-75Aタイプ 昼光率=2.2%	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		3.0	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1 昼光制御	住戸部分は庇(バルコニー含む)設置、かつカーテンルを設置	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		<b>1.0</b>	0.15	-	-			
3.4 照明制御		<b>1.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.6</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆部材を使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.7</b>	0.40	<b>3.4</b>	1.00			<b>3.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>4.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応	各住戸で100Mbpsのブロードバンドが利用可能	3.0	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画	高齢者配慮対策等級の最低基準を確保	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>4.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40			
1 広さ感・景観	天井高2.5m以上	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	インテリアパースによる事前検証を実施	4.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.30	-	-			<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.7</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を取得予定	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	壁・天井:ビニールクロス仕上(20年) 床:フローリング仕上(20年)	4.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:SUS(C)、汚水排水・雑排水:硬質塩化ビニル管(B)を採用、Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-					
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-					
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-					
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-					
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-					
3 対応性・更新性			2.8	0.30	2.8	1.00	2.8				
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50					
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	0.60					
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	2.0	0.40					
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50					
3.3 設備の更新性			2.8	1.00	-	-					
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-					
2 給排水管の更新性			2.0	0.20	-	-					
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-					
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-					
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-					
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-					
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1				
1 生物環境の保全と創出			環境認証制度取得予定				4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	-	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	-	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	-	3.5	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	-	-	-	4.1	
1 建物外皮の熱負荷抑制			日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4に相当				5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			BEIm 非住宅 - 住宅(専有部) 0.95				4.5	0.50	-	-	4.5
集合住宅以外の評価(3a.3b)			潜熱回収型給湯器エコジョーズの採用				4.5	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)							3.0	0.20	-	-	3.0
4 効率的運用			-	-	-	-	-	-	-		
集合住宅以外の評価							3.0	-	-	-	
4.1 モニタリング							3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制							3.0	-	-	-	
集合住宅の評価							3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング							3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制							3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	-	-	2.7	
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	-	-	-	2.2	
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	-	-	-	2.7	
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-				1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			内壁二重壁工法より躯体と仕上分別可能				4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	-	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			指定化学物質を含有しない壁紙用接着剤使用				4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	-	-	-		
1 消火剤			-	-	-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-	-	-		
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	-	-	3.5	
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率60%				4.5	0.33	-	-	4.5
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	-	-	-	3.0	
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	-		
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	-		
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-	-	-		
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-	-	-		
2 振動			-	-	-	-	-	-	-		
3 悪臭			-	-	-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-	-	-		
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	-	-		
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-	-		
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-	-	-		
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	-	-		